

【図画工作】

## 図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	図画工作
116	日 文	図画工作

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標・振り返りの示し方	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例
		② [共通事項]を視点とした学びの示し方	[共通事項]を視点とした学びの示し方と具体例
		③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	材料や用具の取扱い等の示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	導入の示し方と具体例
		⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方と具体例
		⑥ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い	鑑賞の対象と示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材や資料等の配列	題材数、構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標・振り返りの示し方
方法	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例

	題材の目標・振り返りの表記の仕方	具体例	
開 隆 堂	<p>○ 各題材の目標を、3種類のキャラクターと文で示し、特に重点的に育成したい資質・能力には下線を引き、色を変えて示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「形や色、方法や材料を知って、くふうする力」(知識及び技能)</li> <li>・「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・「心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」(学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ 重点的に育成したい資質・能力に対応した、児童が自己評価する際の手助けになる振り返りの視点を示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 ( 下 )	<p>「ほった線からはじまるお話」</p> <p>○ 学習のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ちょうこく刀の使い方になれ、ほり方や刷り方をくふうする。</u> (知識及び技能)</li> <li>・ ほってできた線の感じから想ぞうを広げ、表したいことを考える。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ちょうこく刀でほって、紙に刷ることをたのしむ。 (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ ふりかえり 線のほり方と刷り方をどのようにくふうして表せたのかな。</p>
日 文	<p>○ 各題材の目標を、資質・能力の三つの柱に基づいて、3種類のマークと文で示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「形や色のかんじが分かることや、ざいりょうや用ぐをくふうして使うこと。」(知識及び技能)</li> <li>・「つくりたいものやつくり方を考えることや、作ひんや活動のよさやおもしろさを感じること。」(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・「楽しんで、思いをじつげんしようすること。」(学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養へとつなげるために、活動を通して、どのような気付きや学びがあったのか、学習を振り返るための視点を示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 ( 下 )	<p>「ほってすって見つけて」</p> <p>○ 学しゅうのめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほったりすったりして、形の感じを見つける。 (知識及び技能)</li> <li>・ ほる線や形をくふうする。 (知識及び技能)</li> <li>・ ほった線や形から、表したいことや表し方を考える。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ほったりすったりした線や形のよさを味わう。 (思考力、判断力、表現力等)</li> <li>・ ほり方をためしたり、すったりすることを楽しむ。 (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul> <p>○ ふりかえり 木をほっていくのはどんな感じかな。すったものを見た時、どんなことを感じたかな。</p>

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
方法	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例

	〔共通事項〕を視点とした 学びの示し方	具体例	
開 隆 堂	○ 全ての題材で、キャラクターの吹き出しに〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「おはながみ かさねて すかして」 ・ちがう 形や 色のお花紙を ならべて かさねると、どんな かんじに なるかな。
		鑑賞	第5・6学年〈下〉「墨や筆の技 水墨画の世界へ」 ・どんなところが、どうして気になったのかな。
日 文	○ ほぼ全ての題材で、「特に大切なめあてのヒント」や「かん賞のヒント」に〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「ひかりの プレゼント」 ・ざいりょうを ならべたり かさねたり、うつしかたをかえたり して みよう。 ・どの ひかりが きれいかな。どんな かざしかたをして いるかな。
		鑑賞	第5・6学年〈下〉「音の絵」 ・音は、どんな線や形、色で表せそうかな。 ・音のリズムや動きを意識してもいいね。どんな用具や表し方がいいかな。

(注) 〔共通事項〕とは、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要な資質・能力であり、形や色などの造形的な特徴を理解したり、イメージをもったりするなど、表現及び鑑賞の活動の基になるとともに、形や色などを活用したコミュニケーションの基盤となるものである。

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	材料や用具の取扱い等の示し方

材料や用具の取扱い等の示し方	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上に材料名や用具名とイラストで示している。</li> <li>○ 全ての学年において巻末に、「学びの資料」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方、技法、製作の過程、ICT機器の活用例等について、イラストや写真を用いて説明している。</li> <li>○ 表現の題材に、「安全」や「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</li> <li>○ 「参考」の囲みを設け、巻末の「学びの資料」のページ番号を示し、題材に合わせて材料や用具等を活用できるよう促している。</li> <li>○ 二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材ごとに主に使用する用具について、ページ番号横に材料名や用具名とイラストで示している。</li> <li>○ 全ての学年において巻末に、「材料と用具のひきだし」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方や技法について、イラストや写真を用いて説明している。</li> <li>○ 表現と一部の鑑賞題材に、「気をつけよう」や「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</li> <li>○ 高学年では、ページ下に「思い出そう」の囲みを設け、「表し方のくふう」「接着」について示し、題材に合わせてこれまでの学びを活用できるよう促している。</li> <li>○ 二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。</li> </ul>

【図画工作】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入の示し方と具体例

	導入の示し方	具体例	
<b>開隆堂</b>	<p>○ 各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文を示している。</p> <p>○ 全ての題材で二次元コードから、タブレット端末等で導入動画を視聴できるように示している。</p>	造形遊び	<p>第1・2学年〈上〉「スタンプぺったん」</p> <p>えのぐを つけたら どんな かたちになるのかな。</p> <p>みんなで うつつと もっと たのしい。</p>
		絵	<p>第5・6学年〈下〉「墨の達人」</p> <p>墨でかくことよさって何だろう。墨と水、いろいろな用具を組み合わせて、思いついたことをどんどんためてたのしもう。</p>
		立体	<p>第1・2学年〈上〉「はこと はこを くみあわせて」</p> <p>ならべたり つみあげたりしてみよう。どんなものが つくれそうかな。</p>
		工作	<p>第3・4学年〈下〉「飛び出すハッピーカード」</p> <p>つくってたのしい、もらってうれしい、思いが飛び出すハッピーカード。わたすところを想ぞうしたら、なんだかワクワクするね！</p>
		鑑賞	<p>第3・4学年〈上〉「えっへん！わたしが主人公です」</p> <p>ふしぎな生き物たちは、どのように表されているかな。ミロさんの絵を見てみよう。形や線、色を見ながら、ミロさんのかいた生き物を主人公にして、感じたことや想ぞうしたことをかこう。</p>
<b>日文</b>	<p>○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。</p>	造形遊び	<p>第1・2学年〈上〉「ぺったん コロコロ」</p> <p>いろいろな ざいりょうで ペったんしたり コロコロしたり。</p> <p>どんな かたちが できるかな。</p>
		絵	<p>第5・6学年〈下〉「墨と水から広がる世界」</p> <p>墨と水がつくるたくさんの色。表し方を試して、紙の上に広がる世界を楽しもう。</p>
		立体	<p>第1・2学年〈上〉「はこで つくったよ」</p> <p>はこを つんだり ならべたり。おもいついたら、くっつけて。どんな ものを つくろうかな。</p>
		工作	<p>第3・4学年〈下〉「幸せを運ぶカード」</p> <p>つたえたいことやつたえる人の気持ちを思いうかべながら、カードをつくろう。仕組みを使うと、よくつたわるかな。</p>
		鑑賞	<p>第3・4学年〈上〉「絵を見て話そう」</p> <p>びじゅつ作ひんを見て、みんなで話をしよう。かんじたことや考えたことを話し合いながら見ると、絵の見え方はどうなるかな。</p>

【図画工作】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
<b>方法</b>	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方と具体例

	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方	学年	具体例
開 隆 堂	○ 表現と鑑賞を関連付けて学習を展開できる題材を設定したり、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「小さな美術館」を設けたりしている。	第1・2学年 (下)	○ 「しぜんからのおくりもの」【造形遊び】と特設ページ「小さなびじゅつかん」の関連 ・身近な自然の中にある落ち葉や木の実、枝やつるを、形や色に着目しながら、並べ方や重ね方など、組合せを工夫して表現する活動を行う題材の次ページに、自然の中から集めた様々な形や色、触り心地を感じ取る活動例を示している。
		第3・4学年 (下)	○ 「木々を見つめて」【絵】と「自然の色 どんな色」【鑑賞】の関連 ・木から感じたことを基に表したいことを考え表現する活動の次ページに、作品を見て色づかいや形から感じ取ったことを交流し合ったり、自分たちの作品を色づかいに着目して再度見直したりする鑑賞題材を設定している。
		第5・6学年 (上)	○ 「あったらいい町どんな町」【絵】と「わたしの町のひみつ教えます」【鑑賞】の関連 ・想像を膨らませて表したい町を考え表現する活動の次ページに、友だちの作品を見て自分が見付けた町の秘密を発表したり、自分の作品を友だちに紹介したりする鑑賞題材を設定している。
日 文	○ 表現と鑑賞を関連付けて学習を展開できる題材を設定したり、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「教科書美術館」を設けたりしている。	第1・2学年 (下)	○ 「ふしぎな たまご」【絵】、「おはなしから 生まれたよ」【絵】と「であって 生まれる いろの せかい」【鑑賞】の関連 ・自分が想像した世界やお話からイメージを広げ、形や色で表す表現題材と、色を混ぜて偶然生まれる色の面白さを感じ取り、そこからイメージを膨らませる活動を行う鑑賞題材を設定している。
		第3・4学年 (下)	○ 「光とかげから生まれる形」【造形遊び】、「光のさしこむ絵」【絵】と特設ページ「教科書美術館 光から生まれる形・色」の関連 ・光と影を使って造形遊びを行ったり、光を通して表現される形や色で絵に表したりする2つの表現題材の間に、光のよさを味わう特設ページ「教科書美術館」を設定している。
		第5・6学年 (上)	○ 「水から発見 ここきれい！」【鑑賞】と「のぞいてみると」【立体】、「ミラクル!ミラーワールド」【立体】の関連 ・色水をつくったり並べたりする表現活動と、自分なりの美しさを見付ける鑑賞活動が一体化した鑑賞題材や、形や色、奥行きや広がりを見え方を試したり確かめたりする鑑賞活動を行いながら表現する題材を設定している。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
方法	鑑賞の対象と示し方

	学年	鑑賞の対象	示し方
開隆堂	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(かんしょう)「おしえて みんなの すきなもの」 友だちの作品を見て楽しむよう促す文とともに、自分たちの作品を鑑賞する様子や児童の作品を写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「たからもの ものがたり」 形や色に着目して友だちの宝物を見るよう促す文とともに、身近にある自然物や人工物を提示して発表する様子を写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(みんなのギャラリー)「地いきに学ぶ」 地域にある壁画や伝統工芸品、受け継がれてきた文化等を写真で示している。
			〈下〉(りったい)「直線と曲線から生まれる形」 割りばしや竹ひごを使った作品の製作過程や児童の作品を写真等で示している。
	第5・6学年	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(小さな美術館)「作品の世界に入りこんで」 諸外国の作品や児童の作品を複数示し、作品からイメージを膨らませ、見方や考え方を広げるよう促している。 (一部題材)「自然と生きる」「ごみゼロを目指す町」など、扱っている題材に関連する生活の中の造形を紹介しているものもある。
			〈下〉(小さな美術館)「よさを感じて 取り入れて」 構図の似ている日本の作品と諸外国の作品の写真を並べて示している。 (つながる造形)「人とともに未来をつくる」 案内看板やピクトグラム、ユニバーサルデザインなど、生活の中にあるデザインについて写真で示している。
日 文	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(かんしょう)「すきな かたちや いろ なあに」 形や色に着目させる文とともに、身近にある様々な形や色の自然物や人工の材料を写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「でこぼこ はっけん!」 身の回りにあるでこぼこに着目させる文とともに、児童が手で触って感じる様子や児童が型取りしてつくった作品を写真で示している。
	第3・4学年	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(広がる図工)「みんなとつながる」 地域の施設や野外に展示された児童の作品や、地域の中にある美術作品の様子を写真で示している。
			〈下〉(立体・かんしょう)「のこぎりギコギコ」 のこぎりで木を切ったり、組み合わせたりする作品の製作過程や児童の作品を写真等で示している。
	第5・6学年	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(広がる図工)「どんなことをどんな方法で」 地域のキャラクターや、ピクトグラム、ポスター等、生活の中にある造形について写真で示している。 (図工のみかた)「どう見る? どう見える?」 身近にあるものを、視点を変えることで、様々な見方ができるということを例で挙げ、写真で示している。
			〈下〉(広がる図工)「平和を願って」 我が国や諸外国、平和を願って描かれた作品を写真で示している。 (教科書美術館)「受けつがれてきた形」 昔から受け継がれてきた日本に昔から伝わる伝統的な技法や作品を写真で示している。

【図画工作】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦題材や資料等の配列
<b>方法</b>	題材数、構成や配列

	学年	題材数	1ページ題材	複数ページ題材	構成や配列					
					項目					
					造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	
<b>開隆堂</b>	第1・2学年〈上〉	23	0	23	4	7	4	7	1	全て学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。
	第1・2学年〈下〉	23	0	23	4	7	3	8	1	
	第3・4学年〈上〉	22	0	22	3	7	3	8	1	
	第3・4学年〈下〉	22	0	22	3	7	3	8	1	
	第5・6学年〈上〉	20	0	20	2	7	3	7	1	
	第5・6学年〈下〉	19	0	19	2	7	3	6	1	
<b>日 文</b>	第1・2学年〈上〉	24	2	22	5	7	3	6	3	全て学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。
	第1・2学年〈下〉	23	2	21	4	7	4	5	3	
	第3・4学年〈上〉	22	2	20	3	7	4	5	3	
	第3・4学年〈下〉	20	0	20	3	6	3	5	3	
	第5・6学年〈上〉	20	0	20	2	6	5	5	2	
	第5・6学年〈下〉	19	0	19	2	7	3	5	2	



【図画工作】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品や造形活動の示し方と具体例

	作品や造形活動の示し方	学年	具体例
開隆堂	○ 作品（図版番号あり）や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年（下）	「つんで ならべて びっくりしタワー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねん土を さわると ワクワクするね。</li> <li>・足が うごいて いどうする タワーなんだ。</li> <li>・あなを あけて、風が 通る タワーに しようかな。</li> <li>・「すしとさら、はしを かさねてみたら、いつのまにか おもしろい形になりました。」</li> <li>・「丸めた 形が 船に 見えてきたので、海ぞく船に しました。」</li> <li>・「よこに 広がる 入り口にして、まども つくりました。」</li> <li>・「前と 後ろに ちがう 形が あるので、いろいろな ところから 見てね。」</li> </ul>
		第3・4学年（上）	「光サンドイッチ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーシングペーパーをはるとどんな感じになるかな。</li> <li>・光にかざすと、組み合わせたざいりょうが、いろいろな形と色に見えるね。</li> <li>・「ダイヤの形を二つ組み合わせせて人形をつくりました。」</li> <li>・「組み合わせをくふうして、カラフルな葉っぱとモモの実をつくりました。」</li> <li>・「色がすける感じをたしかめながら、にじ色を表げんしました。」</li> </ul>
		第5・6学年（上）	「線から生まれたわたしの世界」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・くるくるとペンを動かしていたら、おもしろい形ができたよ。</li> <li>・その作品は、線にスピードがあるのがいいね。</li> <li>・「定規でくり返し同じ線を引き、線でできた形を重ねるように表したら立体的な世界になりました。」</li> <li>・「ペンの先をはじくように勢いよく短めの線をかきはじめました。かきながら花火のようだと感じて、かき続けた作品です。」</li> <li>・「太めのペンを使って、力強くかきました。」</li> <li>・「雲形定規の曲線がきれいだったので、少しずつずらしながら似ている色をたくさん使ってかきました。」</li> <li>・「型を使って同じ図形を重ねてかくおもしろさに気づき、配置を考えながら表しました。」</li> </ul>
日 文	○ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年（下）	「ともだちハウス」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねるのが 大すきな ともだちだよ。</li> <li>・シャワーや おふろもあるよ。</li> <li>・ジュースが のめる へやが あるよ。</li> </ul>
		第3・4学年（上）	「うごいて楽しい わりピンワールド」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・りょう足をうごかせるようにしよう。</li> <li>・どこがうごくか分かるかな。</li> <li>・一つひとつが回るようにしよう。</li> <li>・くるっと回すと、ちがうせかいになるよ。</li> <li>・かんらん車の色をかえて、楽しいかんじにしたよ。</li> <li>・回りながら、いろいろなどうぶつを見られるよ。</li> </ul>
		第5・6学年（上）	「まだ見ぬ世界」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・花がいっぱいの写真を見て、人が世界中にいることを思いうかべたよ。人の心が花をそめていくことを想ぞうしたから、それぞれの花の色を変えて表したんだ。</li> <li>・フルーツの写真を見て、一つひとつが無げんの力をもっているように感じたよ。</li> <li>・家を黒くしたら、空の温かな感じもっとはっきりしてきたよ。</li> <li>・いろいろな鳥をかきたして、にぎやかな鳥の国にしたよ。自然をかいり後ろを黄色にしたりして、明るい場所にしたんだ。</li> <li>・うちゅうに散りばめられた星から想ぞうを広げて、みんなに幸せをとどける木を表したよ。</li> </ul>

【図画工作】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
<b>方法</b>	発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

	発想や構想、鑑賞の場面における 言語活動の示し方	具体例	
開隆堂	○ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。	表現	<p>「ドリームカンパニー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アイデアを考えてきかく書をつくろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・そんなアイデアもあるんだ！いいね。</li> <li>・いっしょの会社でつくろうよ。</li> <li>・このアイデアを合わせたらおもしろくなりそうだよ。</li> </ul> </li> <li>○ アイデアを集めて会社設立               <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちのグループは、空を飛ぶための道具をつくる会社です。</li> </ul> </li> <li>○ 会社の製品を発表しよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品のよさをしょうかいする資料をつくって、プレゼンテーションしたよ。</li> <li>・会社の看板をつくって宣伝をしよう。</li> </ul> </li> </ul>
		鑑賞	<p>「えっへん！わたしが主人公です」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お気に入りの生き物を主人公にすると、どんなお話ができるかな。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・この馬のたてがみが気に入ったから、主人公にするよ。たてがみをなびかせて、ダンスしたらどうかな。</li> <li>・馬と馬の友だちがいっしょにおどっているようにかくと、たのしそうだね。</li> <li>・カタツムリの貝の形がおもしろいな。</li> </ul> </li> <li>○ 主人公をかいて、気づいたことや想ぞうしたことを話そう。</li> </ul>

	発想や構想、鑑賞の場面における 言語活動の示し方	具体例	
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。</li> <li>○ 各上巻には、「ともだちの さくひんをみて はなそう」(第1・2学年〈上〉)、「友だちと作品を見て話そう」(第3・4学年〈上〉、第5・6学年〈上〉)の特設ページを設定し、作品を見て感じたことや考えたことを友だちと話し合う活動を示すことで、言語活動の充実を促している。</li> </ul>	表 現	<p style="text-align: center;">第5・6学年 (下)</p> <p>「あったらいいなプロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマから思いついたことや、形、色、材料などを考えながら、「あったらいいな」を具体的にしよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で発電できるといいな。</li> <li>・ただ発電するだけでなく、みんなが楽しめる仕組みもほしいな。</li> <li>・保護ネコが安心して過ごせる、いつも夜のように暗くなっている施設がいいな。</li> <li>・うちゅうゴミを回しゅうすることに特化した学校をつくろう。</li> </ul> </li> <li>○ 提案したいことに合う材料の使い方はどれかな。</li> <li>○ みんなにプロジェクトをプレゼンテーションしよう。</li> </ul>
		鑑 賞	<p style="text-align: center;">第3・4学年 (上)</p> <p>「絵を見て話そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何がかかっているかな。</li> <li>○ ここはどんな場しょだろう。</li> <li>○ どんな音が聞こえそうかな。</li> <li>○ どんな気持ちになるかな。</li> <li>○ 一人でじっくり見よう。</li> <li>○ 友だちと、気づいたことやかんじたことを話し合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターや音ぷがあるから、音楽のじっけん室みたい。</li> <li>・なるほど。くらくてふしぎなかんじだから、そんな見方もできそうだな。</li> <li>・おもしろい考えだね。わたしは、ピラミッドのひみつのへやの中だと思ったよ。</li> <li>・作品の中にいそうなものをかいてみたよ。</li> </ul> </li> </ul>